

『2008年上半期(1月～6月)JVA統計調査』について

当協会は9月11日(木)午前11時より、協会会議室において『2008年上半期(1月～6月)JVA統計調査結果』について記者発表会を開催しました。当日の出席者は、上田武二郎統計調査委員会委員長(株)ポニーキャニオン営業本部本部長)、後藤健郎理事・事務局長、肥田幹夫管理部長、上田直子管理部次長兼広報課長。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2008年上半期の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、同調査の詳細な結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.66』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

詳細については、広報課上田まで(03-3542-4433)、もしくは協会ホームページ「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以上

2008年上半期(1月～6月)の実績について

1. 今期の統計から、ブルーレイ(HD DVDを含む)、UMDの実績を新たに加算している。前期比、前年同期比については、当該の期のこれらのメディアの実績を加算した数字を用いて比率を求めている。これによると今期のビデオソフトの総売上は1415億9100万円で前年同期比94.9%となった。
2. ビデオソフトの総売上金額のうちそれぞれのメディアの構成比は、DVDビデオが98.2%、ビデオカセットが0.1%、ブルーレイ(HD DVDを含む)が1.6%、UMDが0.1%となった。
3. DVDビデオの売上金額は1390億3200万円で、前年同期比94.0%と前年同期を割り込むこととなり、上半期のDVDビデオの実績としては上位から4番目となった。
4. DVDビデオの流通チャネル別売上金額では、「販売用」が64.7%、「レンタル店用」が

35.0%、「業務用」が0.3%となった。

「販売用」は899億4300万円で前年同期比92.8%となり、上半期実績としては2004年をピークに下降傾向が続いている。「レンタル店用」は486億2800万円で前年同期比97.0%と、はじめての前年同期割れとなった。

5. 今期の調査から、ジャンル別に新たに『アジアの映画』と『アジアのTVドラマ』を加えている。DVDビデオの「販売用」売上金額の構成をジャンル別に見てみると、構成比1位は『日本のアニメーション(一般向け)』(構成比27.4%)と前年同期と変化はなかったが、これまで第2位につけていた『洋画(TVドラマを除く)』が同12.9%(これまでのジャンル別と比較するために『洋画(TVドラマを除く)』と『アジアの映画』を合計すると構成比13.1%)となり、『音楽(邦楽)』の同17.9%に抜かれ、構成比は3番目となった。
6. DVDビデオの「販売用」売上金額をジャンル別に見てみると、今期最も好調が目立ったのは『音楽(邦楽)』で、前年同期比129.5%と大きく伸長した。また『海外のTVドラマ』と『アジアのTVドラマ』を合計して、前年同期と比較すると116.7%となっており、このジャンルも好調であったことがわかる。ちなみに『海外のTVドラマ』と『アジアのTVドラマ』の売上金額の比率は43.8対56.2で『アジアのTVドラマ』のほうが高い比率となっている。
一方その他のジャンルでは、『日本のアニメーション(一般向け)』は前年同期比86.5%、『洋画(TVドラマを除く)』と『アジアの映画』の合計は同81.3%、『邦画(TVドラマを除く)』は同82.1%と、主だったジャンルで前年同期を大きく下回ることとなった。『芸能・趣味・教養』も同71.8%と前年同期割れしているが、これは今期中に退会した社の売上が反映されなくなったことが大きな要因となっている。
7. DVDビデオの「レンタル店用」の売上金額をジャンル別に見てみると、『洋画(TVドラマを除く)』と『アジアの映画』の合計が構成比28.3%と1位を占めているが、『海外のTVドラマ』と『アジアのTVドラマ』を合計すると構成比24.7%となり、『日本のアニメーション(一般向け)』の構成比19.9%を抜いて第2位の構成比を占めることとなった。
8. DVDビデオの「レンタル店用」売上金額のジャンル別の増減を見てみると、『海外のTVドラマ』と『アジアのTVドラマ』の合計は前年同月比122.4%と大きく伸長しており、このジャンルの好調さが目立つ。『海外のTVドラマ』と『アジアのTVドラマ』の売上金額の比率は、58.5対41.5となり、「販売用」と比率が逆転している。
一方、その他の主だったジャンルでは、『洋画(TVドラマを除く)』と『アジアの

映画』の合計が同 92.8%、『日本のアニメーション(一般向け)』は同 88.1%、『邦画(TV
ドラマを除く)』は同 89.6%、『日本の TV ドラマ』は同 91.1%と、どのジャンルも 1
割前後の減少となった。

『海外の TV ドラマ』と『アジアの TV ドラマ』の売上数量の合計を前年同月と比
較すると、前年同月比は 167.3%と大きく伸長しているが、これはレベニューシェアリ
ング方式の採用のためと見られる。これにより、数量における構成比では、『海外の
TV ドラマ』と『アジアの TV ドラマ』の合計が 38.1%を占めて 1 位となり、次に『洋
画(TV ドラマを除く)』と『アジアの映画』の合計が 26.9%で 2 位、『日本のアニメー
ション(一般向け)』が 13.6%で 3 位となる。

- 9 . ブルーレイ(HD DVD を含む)の売上金額は 22 億 6600 万円でソフト全体の売上金
額の中では 1.6%の構成となるが、前年同期比は 195.5%と 2 倍近い伸長となっている。
売上金額に占める HD DVD の割合は 3.7%、数量においては 4.7%となっている。

ジャンル別の構成では、『洋画(TV ドラマを除く)』が 68.6%と 7 割近くを占め、
次に『日本のアニメーション(一般向け)』が 20.9%を占めている。

以 上